

## 『平成 30 年度未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム～多様な協働をとおして～』を開催しました(2018/11/22)

テーマ：防災教育、生涯学習、学校安全、地域安全、防災教育国際協働センター  
 場 所：岩沼市民会館

2018年11月22日、宮城県教育委員会、東北大学災害科学国際研究所防災教育国際協働センターの主催、国土交通省東北地方整備局、岩沼市教育委員会の共催により、岩沼市民会館にて「平成30年度未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム～多様な協働をとおして～」が開催されました。フォーラムには、学校安全・地域安全に関わる教育関係者、研究者、実践者等、日本全国から約600名が参加しました。本フォーラムは、2015年度に開催されたプレフォーラムを含めると、今回が4回目の開催となり、学校と地域の安全分野における期待が高まりつつあります。その期待と要求の高まりに対応するために、これまで「防災教育を中心とした学校安全フォーラム」と称して宮城県教育庁スポーツ健康課が中心となり企画運営してきたフォーラムと、「地域防災フォーラムinみやぎ」と称して宮城県教育庁生涯学習課が企画運営してきたフォーラムを合同で企画運営することに至りました。

本フォーラムでは、はじめに宮城県教育委員会の高橋仁教育長（代読）、岩沼市教育委員会の百井崇教育長からの挨拶に続き、防災教育国際協働センターの佐藤 健センター長（情報管理・社会連携部門）より開催の趣旨説明が行われました。

特別講演では、防災科学技術研究所の林 春男理事長から「防災教育に取り組む上で大切なこと」と題する特別講演が行われ、続いて、全国各地における生活安全と交通安全に関する先進事例発表が行われました。午後のワイドビジョントーク「豊かな防災教育のために関係機関や世界とつながる」では、国土交通省東北地方整備局の西尾 崇企画部長とNPO法人SEEDS Asiaの中川 裕子事務局長をゲストに迎え、佐藤 健教授がファシリテータとなり豊かな防災教育の実践に向けたトークが繰り広げられました。その後、石巻市河北地区における幼少中高の連携による安全教育の実践事例の発表があり、最後に「地域とのつながり」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。

最後に、宮城県教育庁スポーツ健康課の駒木康伸課長により、本フォーラムの意義とその成果についての講評、閉会の挨拶が行われました。



林理事長による特別講演



ワイドビジョントーク



パネルディスカッション



会場の様子